

第17回北九州市外郭団体評価会議 開催概要

- 1 開催日時:令和4年11月7日(月) 14時00分~16時00分
- 2 開催場所:Web開催
- 3 出席者:明石座長、今泉氏、加藤氏、新川氏、能美、福地氏及び外郭団体所管課
- 4 議題:「令和3年度ミッション遂行票(取組結果)について」
- 5 議事要旨

(1) 北九州市住宅供給公社(成果指標「公社賃貸住宅の入居率」未達について)

<構成員コメント>

- ・人口動態をふまえ、公社賃貸住宅のストック最適化のあり方を示していただきたい。
- ・民間事業者との競合やすみ分け、需要の状況などをエリア別に分析しながら、公社賃貸事業の計画を立ててほしい。
- ・若者の地元就職や定住促進の観点から、市内大学生に向けた入居政策・広報PRに積極的に取り組んでいただきたい。
- ・他都市の公社の中には、入居促進のために選択的リノベーションや収入制限をかけない制度によって高い入居率を維持できているところがある。このような事例を参考に、公社賃貸の今後の在り方を検討してほしい。

<団体等コメント>

- ・利便性や入居率等のバランスを見ながら、公社賃貸の建替え、廃止、維持等の計画を検討したい。
- ・今後、活用計画を見直す中で、建替え、廃止などの見直しを行う団地を決めたのち、対象エリアの需要調査等を行いながら必要な戸数の設定を行うなど、具体の事業計画を立てて検討していきたい。

(2) 北九州高速鉄道株式会社(団体の経営状況について)

<構成員コメント>

- ・設備更新計画を見直す際は、昨今の原材料高騰の影響を踏まえ、コスト面において楽観的・悲観的両方のシナリオを想定しながら計画を立ててほしい。
- ・今後、設備更新計画を策定する際には、事業費を精緻化していただきたい。
- ・今後、設備更新の負担が重くなっていくので、会社単独での投資は経営的に困難で、設備は市が持ち、団体は運営に集中、という形態にしていく必要があるのではないか。
- ・他都市の交通事業者の例を研究しながら、団体運営と設備保有の在り方を検討してほしい。

<団体等コメント>

- ・安全運行を確保するため、老朽化した車両等の大規模な設備更新に対応しつつ、設備のスリム化や新技術の導入等による更新費用の低廉化に加え、脱炭素車両への更新など、投資額を検討していく。
- ・輸送人員は回復傾向にあるものの、コロナ前の水準には至っていない。引き続き、増客・増収とコスト削減に取り組むとともに、中期経営計画の見直しも視野に入れながら、公共交通機関として、安全・正確・快適な管理運営を維持できるように経営の安定化に努める。
- ・設備更新については、モノレール事業の特殊事情も勘案しながら市と団体で、役割分担を今後話し合っていく必要があると考えている。

(3) アジア女性交流・研究フォーラム(団体の今後の在り方について)

<構成員コメント>

- ・SDGsやジェンダーフリーなど、多様な面から男女共同参画を捉えることが増えてきたため、その点を踏まえながら、改めて団体の位置付けを見直すべき。
- ・団体のミッション(女性の地位向上)に対するKPIが市民から見て分かりにくい。市内民間企業の管理職の割合など、もっと実態に即した実践的かつ具体的な指標に変更すべき。

<団体等コメント>

- ・市が令和6年度策定予定の第5次男女共同参画基本計画に合わせ、団体の中長期計画を策定する予定。
- ・男女共同参画に加え、ジェンダーを意識した講座や啓発も行っており、今後も市内企業を対象とした研修の実施など、民間を巻き込んだ取り組みを行っていききたい。
- ・時代の変化とともにミッションも変わりつつある。市民意識調査を実施し、本市の課題を洗い出したうえで、政策課題に沿ったフォーラムのあり方を議論していききたい。